

ツ、差措シ者ハ、犯人ト同罪ナリ、然レモ罪、流三等ニ止ル、賄賂ヲ受ケテ、舉セサル者ハ、枉法ヲ以テ論シ、何ソカ重キ一方ニツイテ、罪スルナリ、

賭博

凡財物ヲ賭シ、博戲ヲ爲ス者ハ、皆杖八十、賭場ノ財物ハ、官ニ入ル、其賭房ヲ開張賭房ハ、バクナ宿ナリ、開張ハ取開クナリ、博奕ノ宿ヲ取設

賭博條例

第二百六十九條 凡賭博

三犯以上ハ、懲役一年

賭博ノ罪ヲ犯スル、三度以上ナレハ、懲役一年ニ罪ス、

ルナリ、云 スル人ハ、其列ニ

與ラスト雖モ、同罪、飲食ヲ

賭スル者ハ、論スルナリ、勿レ、

金錢ヲカケモ、ニテ博戲ヲ爲ス者ハ、首徒ノ別ナク、皆ナ杖八十ニ罪ス、其賭場ハ、置キタル財物ハ、官府ニ取上ルナリ、博戲宿ヲ取設ル人ハ、其連中ニ與シテストモ、同罪ナリ、飲食カケモ、ニスル博戲ハ、罪カスナリ、

第二百七十條 凡賭場現

在ノ財物ハ、官ニ入ルト

雖モ、其田宅等、不動産ニ

係ル者ハ、原主ニ還付シ、

官ニ入ル、人限キ在ラ

ス、

博戲ノ場ハ、置キタル財物ハ、官ニ入ル、田宅等、不動産ニ係ル者ハ、原主ニ還付シ、官ニ入ル、人限キ在ラス、

若シ産業無クシテ、常ニ腰
 刀ヲ挾帶シ、無賴ノ徒ヲ招
 結シ、賭場ヲ開張シ、四鄰ニ
 横行スル者ハ、皆流一等

若シ産業^{ナリ}モナキ身ニシテ、
 常ニ腰刀ヲ脇挾ミ、無賴ノ
 徒^{ヤカラ}ヲ招キ寄セ、黨結シ、賭場
 ヲ取設ケ、四方ニ横行スル
 者ハ、皆ナ流一等ニ罪ス、

者ハ、原主ニ還シ渡シテ、
 官ニ入ル、ト云フノ限
 ニ在ラヌナリ、

第二百七十一條 凡博戲
 ニ用フル骰子、骨牌ヲ賣
 ル者ハ、賭博者ト同罪、再
 犯ハ、一等ヲ加ヘ、三犯以
 上ハ、懲役一年、

博戲ニ用フル所ノ骰子
 ヤ、骨牌^カナドヲ賣ル者ハ、
 賭博者ト同罪ナリ、再度

Blank page with faint text.

犯セハ、一等ヲ加ヘ、三度
 以上犯セハ、懲役一年ニ
 罪ス、

第二百七十二條 凡賭博
 ノ列ニ與ラスト雖モ、母
 錢ヲ借シ、息ヲ收ル者ハ、
 犯人ト同罪、

賭博ノ連中ニ入ラヌナ
 レハ、賭錢ヲ借シテ、利息
 ヲ取ル者ハ、犯人ト同罪
 ナリ、

囑託公事

凡法令ヲ曲ケンコトヲ欲シ、
公事ヲ囑託スル者ハ、己レ
ノ爲ニシ、人ノ爲ニスルコ
トヲ論セス、答四十、當該ノ官
吏、聽從スル者ハ、同罪、聽從
セサル者ハ、坐セス、若シ事
已ニ施行スル者ハ、杖九十、

枉ル所罪重キ者、官吏ハ、故
出入人罪律ヲ以テ論ス、若
シ他人、及ヒ親屬ノ爲ニ囑
託シテ、枉ル所罪、答四十ヨ
リ重キ者ハ、當該官吏ノ罪
ニ、三等ヲ減ス、自己ノ事ヲ
囑託スル者ハ、坐スヘキ本

罪ニ一等ヲ加フ、

誰人ニ限ラズ、公ケノイニ
カ、リタル事ヲ、役人ヘタ
ノミテ、法令ヲ曲ケサスル
者ハ、役人ノ聽届ケルト、聽届
ケサルニ限ラズ、自分ノ利
ヲ得可キコトアル爲ノ頼ム
ト、人ノ利ヲ得可キコトアル
爲メニ頼ムトヲ論セズ、管
四十ニ罪ス、掛リノ役人、聽
届ケル者ハ、同罪、聽届ケサ
ル者ハ、罪ナキナリ、役人カ
若シ聽届ケテ其頼マシタ
ルコト已ニ施行スレハ、杖
九十ニ罪ス、法ヲ曲ケテ依

怙チスル所、其罪、杖九十

合リ重キ者ハ、官吏ヲ故出入
人罪律ヲ以テ論ス、若シ他人
ソ爲メニシ、及ヒ親屬ノ爲
メニスル所アリテ、頼ミテ
法ヲ曲ケサスル所、其罪、管
四十ヨリ重キ者ハ、官吏ノ
受ル故出入人罪律ヨリ三等
ヲ減シテ罪ス、己レガ身ノ
上ノコトニツイテ、頼ミ枉ル
所、管四十ヨリ重キ者ハ、親
屬、及ヒ他人ノ爲メニ、頼ミ
タルキニ、坐ス可キ本罪ニ、
一等ヲ加ヘテ罪ス、

若シ法ヲ曲ケ、贓ヲ受ル者

夫ハ、曲ケル所、其罪、杖九十

ハ、贓ニ計ヘ、枉法ヲ以テ論
ス、

若シ官吏、法ヲ曲ルニツキ、
賄賂ヲ受ル者ハ、財物ヲ算用
シテ、枉法ヲ以テ罪ヲ論ス、

失火

凡火ヲ失シテ、自己ノ宅舍
ヲ燒ク者ハ、答二十人ノ宅
舍ニ延燒スル者ハ、答四十

失火條例

第二百七十二條 凡太廟
及ヒ山陵内ニ於テ、火ヲ
失スル者ハ、律ニ依リ、罪

罪止タ火ヲ失スル人ヲ坐

ス、若シ太廟及ヒ宮闕内ニ

於テ、火ヲ失スル者ハ、流三

等山陵ノ兆域内ハ、徒一年、

公廩及ヒ倉庫内ハ、杖一百、主

守ノ人、因テ財物ヲ侵欺ス

ル者ハ、贓ニ計ヘ、監守自盜

ヲ科スルノ外官幣、國幣、

大社ハ、山陵ト同シク論

シ、中社ハ、懲役百日、小社

ハ、懲役九十日、府縣社ハ、

懲役七十日、郷社ハ、懲役

六十日、延燒スル者ハ、各

本罪ニ三等ヲ減ス、減シ

ヲ以テ論ス、其外ニ在リ、火
ヲ失シテ、延焼スル者ハ、各
三等ヲ減ス、

鹿想手過チニテ、火事ヲ出
シ、自分ノ宅舎ヲ燒ク者ハ、
答二十ニ罪ス、自分ノ家ノ
ミナラス、人ノ家迄ヲ類焼
スル者ハ、答四十、其罪ニハ、
火ヲ失シタル人ノミチ坐
スルナリ、若シ太廟ヤ、宮闕
内ニ於テ、手過チノ火事ヲ
出ス者ハ、流三等ニ罪ス、山

テ人ノ宅舎ヲ延焼スル
ヨリ輕ク、若クハ等キハ、
並ニ一等ヲ加フ、

太廟、及ヒ山陵内ニ於テ、
火ヲ失スル者ハ、律ニマ
カセテ、罪ニ申付ルナレ
ル、此外ニ、官幣、國幣、大社
ニ於テ、火ヲ失スル者ハ、
山陵内ト同シク罪ニ論
ス、中社ニ於テハ、懲役百
日ニ罪シ、小社ニ於テハ、
懲役九十日ニ罪シ、府縣

陵ノ兆域ニ於テ、火ヲ失ス
ル者ハ、徒一年ニ罪ス、役所
向ヤ倉庫内ニ於テ、失火ス
ル者ハ、杖一百ニ罪ス、其所
ヲ主守スル人、火事ノマギ
レニ、財物ヲマキテカシ盜
ム者ハ、贓ニ計ヘ、監守自盜
ト云チ以テ論ス、太廟、宮闕、
山陵、公廨、倉庫ノ外ニテ、
手過チノ火事ニテ、太廟、宮
闕、山陵、公廨、倉庫ヲ類焼ス
ル者ハ、其所ニテ、失火ノ
罪ヨリ、各三等ヲ減シテ罪
ス、

社ニ於テハ、懲役七十日
ニ罪シ、郷社ハ、懲役六十
日ニ罪ス、前項ノ社外ニ
於テ、手過チノ火事ヨ
リシテ、社ヲ類焼スル者
ハ、大社、中社、小社、府縣郷
社ニ於テ、失火スルノ本
罪ヨリ、各三等ヲ減シテ
罪ス、三等ヲ減シタル所、
其罪人ノ宅舎ヲ類焼ス
ルヨリ、輕キカ、若クハ等
シキ位ナレハ、何レモ、減
シタル上ニ、一等ヲ加フ、

其宮殿、及ヒ倉庫ヲ守衛シ、

第二百七十四條 凡稅居

若クハ囚ヲ掌ル者、火ノ起ルヲ見テハ、所守ヲ離ル、
 一ヲ得ス、違フ者ハ、杖七十
 宮殿、及ヒ倉庫ノ番人、若クハ囚人ヲ掌ル半番ナド、火事ノアル所ハ、決シテ其場所ヲ離ル、一ナラヌナリ、若シ離レ遠カル者ハ、杖七十ニ罪ス、

人、火ヲ失シテ、其家ヲ燒ク者ハ、自己宅舎ヲ燒クニ、一等ヲ加フ、
 借宅者、手過チノ火ニテ、其借リ居ル家ヲ燒クハ、自分ノ宅舎ヲ燒クノ罪ニ、一等ヲ加フ、
 第二百七十五條 凡火ヲ失シテ、人ヲ燒死ニ致ス者ハ、死屍ノ多寡ヲ論セ

新律綱領雜犯律 ○十

改定律例雜犯律 ○十
 ス、一等ヲ加フ、其同居ノ祖父母父母ヲ、燒死ニ致ス者ハ、懲役百日、
 手過チノ火ニテ、宅舎ヲ燒キ、人迄ヲ燒死ニ致ス者ハ、燒死人ノ屍骸ガ多キ寡キノ論ナク、宅舎ハ燒クノ罪ニ、一等ヲ加ヘテ罪ス、失火スルタメ、同居ノ祖父母父母ヲ燒死ニ致ス者ハ、懲役百日ニ罪ス、

第二百七十六條 凡火ヲ
 失シテ、人ノ山林柴草及
 ヒ空間房屋、若クハ田場
 積聚ノ物ヲ延燒スル者
 ハ、官私ヲ分タス、人ノ宅
 舍ニ延燒スルニ、一等ヲ
 減ス、
 手過チノ火ヨリシテ、人

ノ山林ニ生シ居ル柴草
 及ヒ人モ住マヌ物置又
 ハ家、若シハ田畑、其他カ
 ヤ野等ニ、積ミ聚メ置タ
 ル物ヲ、延燒スル者ハ、官
 物私物ノ別チナク、人ノ
 宅舍ヲ類燒スルノ罪ヨ
 リ、一等ヲ減ス、

第二百七十七條 凡盜犯
 火ヲ用ヒテ、門關戶樞ヲ
 燒毀シ、及ヒ燭炬ヲ持シ、
 期セスシテ、失火ニ致ス

者ハ、懲役三年、若シ盜罪
重キ者ハ、重キニ從テ論
ス、

盜賊カ、火ヲ用ヒテ、人ノ
門闕ヤ、戸櫃ヲ燒キ毀テ
ク、燭炬アヲ持シタリナ
ドシテ、計ラズ其火ヨリ
火事ニ致ス者ハ、懲役三
年ニ罪ス、若シ盜ノ罪カ
此懲役三年ヨリ重キ者
ナレハ、重キ盜ノ方ニツ
イテ論ス、

改定律例第二百七十五

條改正明治六年

第二百七十五條 凡火ヲ

失シテ、人ヲ燒死ニ致ス
者ハ、死屍ノ多寡ヲ論セ
ス、一等ヲ加フ、其同居一
等親ノ尊長ヲ、燒死ニ致
ス者ハ、懲役百日、二等親

以下ノ尊長ハ、各一等ヲ
遞減シ、卑幼ハ、各等親ニ
照シ、尊長ニ三等ヲ減ス、
減シテ、罪致人燒死律ヨ
リ輕キ者ハ、減セス、其各
居ニ係ル者ハ、等親尊卑
ヲ論セス、並ニ致人燒死

放火

凡火ヲ放テ、故サラニ公廨
倉庫、及ヒ民舍ヲ燒ク者ハ、
皆斬、未タ燒燬ニ至ラサル
者ハ、流三等

火ツケヲナシテ、故サラニ
公廨^{カクシ}ヤ倉庫ヤ、民人ノ宅舍
ヲ燒ク者ハ、首從ノ別ナク、

ト罪同

放火條例

第二百七十八條 凡火ヲ
放テ、人ノ空間房屋、及ヒ
田場積聚ノ物ヲ燒ク者
ハ、懲役七年、未タ燒燬ニ
至ラサル者ハ、懲役三

昔ナ斬罪ニ處ス、火ヲツケ
タレハ、未タ燒ケ上ラヌ内
ナレハ、流三等ニ罪ス、

年、

火ツケヲナシテ、故サラ
ニ人ノ空間房屋、及ヒ田
場積聚ノ物ヲ燒ク者ハ、
懲役七年ニ罪ス、火ヲツ
ケタレハ、未タ燒ケ上ラ
ヌ内ナレハ、懲役三年ニ
罪ス、

第二百七十九條 凡火ヲ

放テ、故ラニ自己ノ房屋
ヲ燒ク者ハ、懲役九十日、

未タ燒燬ニ至ラサル者
ハ、一等ヲ減ス、若シ期セ
スシテ、公廨倉庫、及ヒ民
舍ヲ延燒スル者ハ、懲役
二年半、因テ財ヲ盜ム者
ハ、懲役終身、
火ツケヲナシテ、故サラ
ニ自分ノ房屋ニ燒ク者
ハ、懲役九十日ニ罪ス、未

ヲ燒ケ上ラヌ内ナレハ、
燒キタル罪ヨリ一等ヲ
減ス、自分ノ家ノミヲ燒
ク必ナレトモ、計ラス役所
向ヤ、倉庫ヤ、寢舎ヲ、類燒
スル者ハ、懲役二年半ニ
罪ス、火事ニマキラシテ、
財物ヲ盜ム者ハ、懲役終
身ニ罪ス、

第二百八十條 凡火ヲ放

テ、人ノ空間房屋ヲ燒キ、
期セスシテ、人ノ宅舎ニ

延燒スル者ハ、懲役十年

火ツケチナシテ、人ノ空
間房屋ヲ燒クニ、其火ニ
リシテ、計ラス人ノ住居
シタリ、物ヲ置タル家屋
ヲ類燒スル者ハ、懲役十
年ニ罪ス、

第二百八十一條 凡火ヲ

放テ、人ノ宅舎ヲ燒キ、未
タ燒燬ニ至ラサル者律
ニ照シ、懲役十年ニ處ス

ル外、若シ雇人等、家長ノ
 管責ニ苛迫シ、一時脱身
 ナ圖リ、纔ニ火ヲ放テ、未
 タ燒燬ニ至ラサル者ハ、
 情ヲ量テ、三等ヲ減シ、懲
 役三年、
 附火ヲナシテ、人ノ宅舍
 ナ燒クニ、未タ燒ケ上ラ
 ス内、ナレハ、律ニ照シ合

費用受寄財産

凡他人ヨリ、財物畜産ノ寄
 託ヲ受ケ、輒ク費用スル者

セテ、懲役十年ニ處斷ス
 ルナレバ、此外ニ若シ雇
 人等、其主人ノ管責ヲ受
 ケ、苛酷ノ憂目ヲ見、一時
 脱走セシ爲メニ、火ツケ
 ナナスモ、未タ燒ケ上ラ
 ス内ニスソハ、事實ヲ酌
 ミ分ケテ、情ヲ量リ、本罪
 ノ懲役十年ヨリ、三等ヲ
 減シ、懲役三年ニ罪ス、

ハ、坐贓ヲ以テ論シ、一等ヲ
減ス、罪、徒二年半ニ止ル、死
失ト詐言スル者ハ、竊盜ニ
二等ヲ減シ、罪、徒三年ニ止
ル、並ニ物ヲ追シテ、主ニ還
ス、其水火盜賊ニ費失セラ
レ、及ヒ畜産病死スル者ハ、

論スルヲ勿レ、

他人ヨリ、財物ヤ畜産^{イキモノ}ヲ頼
マレテ、預リナガラ、財物ヲ
勝手ニ使費シタリ、畜産ヲ
勝手ニ用役スル者ハ、坐贓
ト云チ以テ、其罪ヲ論シテ、
一等ヲ減シテ罪ス、物ノ多
寡員數ニヨリ、罪カ重クナル
ハ、懲役二年半ニ止ルナリ、
畜産ガ死セリ、財物ガ失^{ナクナリ}ツ
タナドト、詐リチ言ツテ、
已レニ取込マントスル者
ハ、竊盜ノ罪ニ二等ヲ減シ
テ罪ス、重クハ、徒三年ニ止
ルナリ、何レタリハ、寄託チ

受ケシ所ノ物品ハ、取立テ、本主ニ還サスルナリ、預リ置タル物カ、水難火難、又ハ盜賊等ニ出遇ヒ、費失セラレタリ、畜産ガ病氣ニテ死亡スル者ハ、罪ナキナリ、

得遺失物

凡遺失ノ物ヲ得レハ、必ス官ニ送ルヘシ、官物ハ、全ク官ニ入レ、私物ハ、一半ヲ其

得遺失條例

第二百八十二條 凡水中沈没ノ物ヲ得レハ、遺失物ヲ得ルヲ以テ論ス、

主ニ給シ、一半ヲ得ル人ニ給ス、如シ三十日內ニ、其主

ナケレハ、全ク給ス、若シ官ニ送ラサル者、官物ハ、坐贓ヲ以テ論シ、物ヲ追シテ、官ニ還ス、私物ハ、一等ヲ減シ、主アルハ、物ヲ追シテ、主ニ

海川其他井戸ナトノ水中ニ、沈没シアル物ヲ見出シ得ルキハ、ヤハリ此遺失物ヲ得ルト云テ以テ論ス、

第二百八十三條 凡遺失

物ヲ得ルニ、物品盜賊ニ係ルト雖モ、私物ナレハ、一半ヲ其主ニ給シ、一半ヲ得ル人ニ給ス、

給シ、主ナキハ、官ニ入ル、

人ノ取落シタリ、紛失シタ
リセシ物ヲ拾ヒ取レハ、必
ス其儘官司ニ差出サナク
テハナラヌナリ、其品、官物
ナレハ、盡ク官府ニ入レ、私
物ナレハ、半分ヲ其遺失主
ニ給シ、他ノ半分ヲ拾ヒ主
ニ下サル、ナリ、得タル時
ヨリ三十日ノ間ニ、遺失ノ
主ガ出ナケレハ、拾ヒシ物
ヲ、盡ク其人ニ下サル、ナ
リ、若シ遺失物ヲ得テ、ソレ
ヲ官司ニ差出サ、ル者、其品、
官物ナレハ、坐贓ヲ以テ論

遺失物ヲ得タル所口、其
品ガ盜贓ニ係ルト雖モ、
其差構ナク、ヤハリ私物
ナレハ、半分ヲ盜マレ主
ニ給シ、他ノ半分ヲ得タ
ル人ニ下サル、ナリ、

第二百八十四條 凡官吏

邏卒、遺失物ヲ得レハ、所部
内外ヲ問ハス、主アルハ、
全ク其主ニ還ス、如シ三

十日内ニ、其主ナケレハ、
得ル者ニ給ス、

官吏ヤ、官吏デナクモ邏
卒ナドガ、遺失ノ物ヲ得
タルニハ、支配所内、支配
所外ノ別ナク、私物タリ
モ、主アレハ、盡ク其主ニ
還シ與フルナリ、若シ三
十日ノ期限内ニ、其主ガ
出ナケレハ、得タル所ノ
官吏邏卒ニ下サル、ナ
リ、

第二百八十五條 凡一切

シ、品物ハ、官府ニ納メサセ、
私物ナレハ、官物ノ罪ヨリ、
一等ヲ減シ、品物ノ主アレ
ハ、取立テ、其主ニ給シ、主
ナキナレハ、官府ニ入ル、
ナリ、

若シ官私地内ニ於テ、埋藏
ノ物ヲ掘得ル者ハ、並ニ官
ニ送り、地主ト中分セシム
隠シテ送ラサル者ハ、主ニ

分ツ可キノ數ヲ計ヘ、坐贓

ヲ以テ論シ、一等ヲ減ス、仍

ホ地主ト中分セシム、

若シ官地私地、何レノニテ
モ、其地面内ニ於テ埋藏ノ
物ヲ掘出シ得レハ、並ニ其
儘官司ニ差出シ、掘出シタ
ル所ノ地面ノ主ト半分ツ
ハ、ニ分テ取ラシム、掘出シ
テ、ソレヲ隠シ、官司ニ差出
サ、ル者ハ、地主ニ分ツヘ
キ丈ノ數員ヲ計算シ、坐贓
ヲ以テ論シ、一等ヲ減シテ

應禁ノ物ヲ得レハ、遺失、

及ヒ埋藏、若クハ沈没ヲ

分タス、一體ニ官ニ没入

ス、

何品ニ限ラズ、總テ禁制
シアル物ヲ得レハ、遺失
物及ヒ埋藏物、若シハ沈
没物ノ類ヲ分メス、一體
ニ其品物ヲ、官府ニ没收
スルナリ、

第二百八十六條 凡人ノ

罪ニス、罪スルナレトモ、仍ホ其
物ヲ、地主ト半分ツ、ニ分
タシム、

違令

凡令ニ違フニ、重キ者ハ、答

四十、輕キ者ハ、一等ヲ減ス、

邸宅内ニ於テ、遺失物ヲ

竊取スル者ハ、竊盜ニ準

シテ論ス、

人ノ邸宅内ニアル遺失
物ヲ、竊ニ取ル者ハ、竊盜
ニ準シテ罪ヲ論スルナ
リ、

違令條例

第二百八十七條 凡制ニ

違フ者ハ、懲役百日、輕キ

御布令ノ旨意ヲ守ラズシ
テ、違背スルニ、違フノ重キ
者ハ、答四十ニ罪ス、輕キ者
ハ、答四十ヨリ一等ヲ減シ
テ罪ス、

者ハ、一等ヲ減ス、

制度ヲ守ラズシテ、違背
スル者ハ、懲役百日ニ罪
シ、其違フノ輕キ者ハ、懲
役百日ヨリ、一等ヲ減シ
テ罪ス、

第二百八十八條 凡式ニ

違フ者ハ、懲役二十日、輕
キ者ハ、一等ヲ減ス、

式制ヲ守ラズシテ、違背
スル者ハ、懲役二十日ニ

不應爲

凡律令ニ正條ナシト雖モ、
情理ニ於テ、爲スヲ得應カ
ラサルノ事ヲ爲ス者ハ、答
三十、事理重キ者ハ、杖七十、
律ニモ令ニモ、是レハナラ

罪ス、其違背ノ輕キ者ハ、
懲役二十日ヨリ、一等ヲ
減シテ罪ス、
不應爲條例

第二百八十九條 凡二人

以上、同ク不應爲ヲ犯シ、
首タル者、懲役三十日
ニ該レハ、從ハ、懲役二十
日、首タル者、懲役七十日

又、是ハ罪スルト云、正シキ
箇條ヲ出サヌコナレド、道
理ノ上ニテ、スマシキ事ヲ
爲セハ、答三十ニ罪ス、事柄
ノ重キ者ハ、杖七十ニ罪ス、

ニ該レハ、從ハ、懲役六十日
ニ科ス、若シ所犯輕重ノ
分アレハ、不應爲輕重ニ分
擬シ、首從ヲ以テ論セス、
二入以上ガ、共々不應爲
一ノ罪ヲ、一所ニ犯スニ、首
ヲモル者ヲ、懲役三十日ニ
該レハ、從タル者ヲ、懲役
二十日ニ罪ス、又首タル
者ヲ、懲役七十日ニ該レ
ハ、從タル者ヲ懲役六十

日ニ科ス、若シ犯ス所ノ
罪ニ、輕重ノ別分アレハ、
一ツハ不應爲輕ニ、一ツ
ハ不應爲重ニト、分ケテ
擬定シ、首從ヲ以テ論セ
ヌナリ、

第二百九十條 凡佛像ヲ

棄毀スル者ハ、不應爲重
ニ科ス、

佛像ヲ棄テタリ、毀テタ
リスル者ハ、不應爲重ニ
問フテ罪科ス、

第二百九十一條 凡詭言

怪說ヲ流傳シ、及ヒ著述

シテ、政體ヲ妨害スル者

ハ、不應爲重ニ科ス、

有リモセヌ詭リ言ヤ、奇

怪ノ說ヲ言フヲシタリ、

又ハ著述ヲナシタリシ

テ、人心ヲ惑ハシ、政體ノ

妨害ヲスル者ハ、不應爲

重ニ罪科ス、

捕七律

追捕罪人

凡捕吏差遣ヲ承ケ罪人ヲ

追捕スルニ事故ニ託シテ

行カス若クハ罪人ノ所在

ヲ知テ捕ヘサル者ハ杖一

百

捕七律

追捕罪人條例

第二百九十二條 凡捕吏

正犯ノ財ヲ受ケ故縱ス

ル同罪者正犯死ニ至レ

ハ同罪者ハ絞ニ處スル

律ヲ改メ懲役終身ニ從

捕手ノ役人差遣ノ命ヲ受
ケテ罪人ヲ追捕スルニカ
コツケテ行カス若
クハ罪人ノ居ル場所ヲ知
リツ、ソレヲ捕ヘサル者
ハ杖一百ニ罪スルナリ

若シ財ヲ受ケ故縱スル者

ハ囚ト同罪贓重キ者ハ贓

ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ

從テ論ス

捕吏罪人ヨリ賄賂ヲ受ケ

フト雖モ其財ヲ受スシ

テ故縱シ及ヒ通信シテ

逃避セシムル同罪者ハ

罪懲役十年ニ止ル

捕吏ガ正犯人ヨリ賄賂
ヲ受ケテ故ト縱シヤル
者ハ正犯人ト同罪ナリ
此事ニテ同罪ニナリシ
者ハ正犯人死罪ニナル
キ絞罪ニ處ス可キナリシ
ガ此律ヲ改メテ懲役終

テ故ト縱シヤル者ハ其囚
人ト同罪ナリ受ケシ贓ノ
重キ者ハ財物ヲ算用シ枉
法ヲ以テ論シ其罪ト彼罪
トノ内一ツノ重キ方ニツ
イテ罪ス

罪人拒捕

凡罪ヲ犯シテ逃走シ追捕

ヲ拒ク者ハ各本罪上ニ二

等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル

身ニ從フト雖モ捕吏正
犯人ヨリ財ヲ受スシテ
故縱シタリ吹聴シテ逃
避サセタリスル同罪者
ハ正犯人死罪ニ至ルモ
懲役十年ニ止リテソ
ヨリハ重ク罪セヌナリ

本罪死スヘキ者ハ常律ニ
 依ル捕吏ヲ毆テ折傷以上
 ニ至ル者ハ絞殺ス者ハ斬
 從タル者ハ各一等ヲ減ス
 罪ヲ犯シテ跡ヲクシテマシ
 逃走リスル者ハ罪人ノ本
 カヒチスル者ハ罪人ノ本
 罪上ニツイテ二等ツ、チ
 加ヘテ罪ス加ヘテ死ニ入
 ル、チナシ罪流三等ニ止
 ルナリ本罪固ヨリ死刑ニ

依ル捕吏ヲ毆テ折傷以上
 ニ至ル者ハ絞殺ス者ハ斬
 從タル者ハ各一等ヲ減ス

ナル可キ者ナシハ常律ニ
 依テ罪ヲ論シ加等スルコ
 ナシ捕手役ヲ打毆シテ折
 傷以上ノ傷ヲ負ハスル者
 ハ絞罪ニ處ス捕手役ヲ殺
 ス者ハ斬罪ニ處ス逃走拒
 捕モ毆打折傷以上ノ絞殺
 ノ斬モ從タル者ハ一等ヲ
 減シテ罪ス
 若シ罪人兇器ヲ持シ拒捕
 スルニ捕吏之ヲ格殺シ及
 ビ囚逃走スルニ捕吏之ヲ

新律綱領捕亡律 ○三
 改定律例捕亡律 ○三

逐殺シ若クハ囚道逐ニ因
テ窘迫シ自殺スル者ハ並
ニ論スルヲ勿レ

若シ罪人カ兇器ヲ持ツテ
捕手ニ手ムカヒテナスニ
捕手役ト搭ヒテ之ヲ殺シ
タリ又ハ囚人ガ逃走リス
ルキ捕手役逐カケテ之ヲ
殺シタリ若クハ囚人追逐
ニ遇フテ往キツマリ逃ル
ハ所ロナキニリシテ自滅
スル者ハ何レモ捕吏ヲ罪

スルヲナシ

若シ罪囚逃走スト雖モ已
ニ拘執ニ就キ及ヒ拒捕セザ
ルニ捕吏之ヲ殺シ或ハ折
傷スル者ハ各鬪殺傷ヲ以
テ論シ若シ死罪ニ該ル罪
人ヲ捕吏一時忿激シテ擅
殺スル者ハ杖九十

新律綱領捕亡律 ○四

改定律例捕亡律 ○四

罪囚一時ハ逃走スルト雖モ終ニハ取押ヘラレテ自
在ニナリ又ハ捕手ニ手向
ヒモセサルニ捕手役ソレ
チ故サト殺シタリ或ハ殺
サストモ折場ニ致タス者
ハ殺スノモ傷ヲ負ハスル
ノモ鬪殺鬪傷ト云テ以テ
罪ヲ論ス若シ死罪ニ該ル
罪人ヲ捕手役ガ一時ノ腹
立マギレニ撞ニ殺ス者ハ
杖九十ニ罪ス

獄囚脱監及反獄逃走

凡罪ヲ犯シ囚禁セラレテ

獄囚脱監及反獄逃走
條例

脱監及越獄シテ逃走ス

ル者ハ各本罪上ニ二等ヲ

加ヘ罪流三等ニ止ル本罪

死スヘキ者ハ常律ニ依ル

罪ヲ犯シ囚獄禁錮セラレ
テ其牢屋ノ門戸ヨリ脱出
テタリ牢屋ノ扉ヲトチ越
ヘテ逃去ル者ハ脱監モ越
獄モ本罪ノ上ニツイテ二
等ヲ加フルナリ加ヘテ死
ニ入ルモ本死罪ニアラサ
ル者ナレハ流三等ニ止リ

第二百九十三條 凡脱監

及越獄シテ逃走スル

者ハ各本罪上ニ二等ヲ

加ヘ罪流三等ニ止ル律

ヲ改メ懲役終身ニ止ル

牢屋ノ門戸ヨリ脱出テ
タリ牢屋ノ扉ヲ越ヘテ
逃去ル者ハ各本罪ノ上
ニツイテ二等ヲ加ヘ罪
流三等ニ止ルナリシガ

テソレヨリ重クセサルナ
リ本罪死刑ニナル可キ者
ノ脱監越獄ハ常律ニ依テ
罪スルナリ

若シ罪囚反獄シテ逃走ス
ル者ハ皆斬同牢ノ囚人反
情ヲ知ラサル者ハ坐セス

罪囚番人ヲ殺シテ牢屋ヲ
逃去ル者ハ首徒ノ別ナク
皆ナ斬罪ニ處ス同シ牢屋
ニ居ル囚人其反獄ノ情ヲ
至ク知ラサル者ハ罪スル

此律ヲ改メテ懲役終身
ニ止ルトナス

第二百九十四條 凡反獄

シテ逃走スル者ハ皆斬
ニ處スル律ヲ改メ首ハ
斬從ハ懲役終身

番人ヲ殺シテ牢屋ヲ逃
去ル者ハ首徒ノ別ナク
皆ナ斬罪ニ處スルナリ
シガ此律ヲ改メ首ハ斬
罪ニ處シ從ハ懲役終身

トナキナリ

其罪囚水火震災ノ變ニ因

テ逸出シ投歸スル者ハ斬

絞以下各一等ヲ減ス

罪囚水難火難地震ナトノ
災變ニ因テ牢屋ヲ一時ヲ
逸出シ後ヲ再ヒ歸リ來レ
ハ絞罪斬罪以下罪級各一
等ツ、ヲ減シヤルナリ

ニ罪ストナス

第二百九十五條 凡罪囚

糾合シテ越獄スルニ從

ハス實ニ據テ首報シ因

テ罪囚即時ニ獲ニ就キ

脱逃ヲ致サ、ルヲ得

ル者及ヒ反獄ノ情ヲ知

テ首報スル者ハ斬絞以

下各本罪ニ一等ヲ減ス
罪囚共ガ申合セテ牢屋
ヲ越ヘテ逃去ラントス
ルニ其議ニ從ハス實事
ヲ以テ申出デシ所ロ其
爲メニ逃去スルノ罪囚
ガ早速獲ヘラレ脱逃ニ
至ラサラシムル者及ヒ
反獄ノ情實ヲ知リテソ
レヲ申出ル者ハ斬絞以
下罪級各一等ヲ減シヤ
ルナリ

第二百九十六條

凡脱監

及ヒ越獄シテ逃走スル
者再逃以上ハ又二等ヲ
累加シ罪懲役終身ニ止
ム懲役場ヲ逃走シ又監
獄ヲ脱越スル者罪亦同
脱監及ヒ越獄シテ逃去
ル者一度ナラス二度以
上ナレハ其度ビニ二等
ツ、チ累チ加フルナリ
加ヘテ死ニ入ルモ罪懲

役終身ニ止ルナリ懲役
ノ場所ヨリ逃去リタリ
又ハ監獄ヲ脱出テ越去
ル者モ罪亦同シキナリ

第二百九十七條 凡犯人

責付内ニ逃走スル者ハ
本罪ニ一等ヲ加フ若シ
囚禁及ヒ責付内ニ逃走
シテ自首スル者ハ止メ

本罪ヲ科シテ逃罪ヲ免

ス

犯罪人責付中ニアリテ
其所ヲ逃去ル者ハ本罪
上ニツイテ一等ヲ加フ
若シ囚禁及ヒ責付内ニ
アリテ逃去ルモ悔悟シ
テ自身罪過ヲ申出レハ
止メ其受ク可キ本罪ノ
ミナ申付ケテ逃走ノ罪
ハ免ルサルハナリ

懲役人逃條例原徒流

徒流人逃

凡徒流囚人役限未タ満

スシテ逃走スル者ハ杖七

十仍ホ配所ニ發シ其徒流

原犯ノ年限ニ照シテ新ニ

拘役シ己ニ役過セシ月日

ハ並ニ通算セス再ニ逃走

スル者ハ絞

徒罪流罪ニ科サレシ囚人

人逃律

第二百九十八條 凡懲役

一年以上ノ囚人限内逃

走スル者ハ杖七十改テ

棒鎖二日再ニ逃走スル

者ハ絞改テ懲役終身

懲役一年以上ニ科シタ

ル囚人其役限内ニ逃走

スル者ハ杖七十ニ罪ス

ルヲ改メテ棒鎖二日ニ

其徒流ノ役限未タ終ラヌ

對内ニ逃走スル者ハ杖七十

ニ罪ス罪ナルハハ杖七十

リ配所ニ遣ハシ其原罪ヲ

犯シタルハ該タル後罪流

罪ノ年限丈ヲ決杖徒今新

タニ申付ルナリ其前ノ已

ニ役過セシ所ノ月日數ハ

何レモ此役限内ニ通算セ

ヌナリ再ヒ逃走スル者ハ

最早此法ニ依ラスシテ絞

罪ニ處ス

若シ己ニ斷決セシ徒流ノ

處シ再ヒ役限内ニ逃走

スル者ハ絞罪ニ處スル

モ亦改メテ懲役終身ニ

處スルトナス

第二百九十九條 凡懲役

百日以下ノ囚人限内逃走

スル者ハ棒鎖一日仍ホ

原犯ノ日限ニ照シテ新

ニ拘役シ再ヒ逃走スル

到ラヌ中途ニシテ逃走ス
ル者モ罪亦同

若シ已ニ判断罪決シタル
徒流ノ罪囚ヲ發遣シタル
所口未タ配所ニ到着セヌ
内テ中途ニシテ逃走スル
者ノ罪モ亦同シキナリ

若シ主守及ヒ押解人
送スルノ
役人ナリ
罪囚ノ逃走スル
ヲ覺ラサル者ハ一名ニ答

者ハ棒鎖二日更ニ懲役
一年ニ入ル若シ外ニ在
テ又百日以下ノ罪ヲ犯
セハ原犯後犯ヲ通算シ
テ新ニ拘役ス其一年以
上ノ罪ヲ犯ス者ハ止タ
後犯ノ年限ニ照シテ更
ニ科斷ス

四十一名毎トニ一等ヲ加
ヘ罪杖一百ニ止ル故縱ス
ル者ハ各囚ト同罪罪流三
等ニ止ル財ヲ受ル者ハ賊
ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ
從テ論ス

若シ罪人ヲ預リ番スル人
及ヒ罪人ヲ護送スル人罪
囚ノ逃走スルヲ覺ラサ

懲役百日以下ニ科シタ
ル囚人其役限内ニ逃走
スル者ハ棒鎖一日ニ處
ス處シテ後チヤハリ原
罪ヲ犯シタルハ該タル
日限丈チ今新タニ申付
ルナリ再ヒ逃走スル者
ハ棒鎖二日ニ處シ更ノ
テ懲役一年ニ入ル若シ
逃走シテ未タ捕ヘラレ
ヌ前ヘ外ニアリテ又百
日以下ノ罪ヲ犯セハ原
該タル犯罪ト後ニ該タ
ル犯罪トノ懲役日數ヲ
通算シテ新タニ拘役ス
其外ニアリテ一年以上

ル者ハ罪囚一名ヲ逃ニスチ
 答四十ニ罪シ一名毎トニ
 一等ツハチ加ヘ加ヘテ重
 シナルモ罪杖一百ニ止ル
 ナリ故サラニ縦シヤル者
 ハ各囚ト同罪ナリシカシ
 罪流三等ニ止リテコレヨ
 リハ重シ申付ヌナリ財ヲ
 受ケテ故縦スル者ハ此罪
 計ヘ枉法ト云チ以テ此罪
 ト各囚ノ同罪トノ一ツ
 ノ重キ方ニツヒテ論スル
 罪ナリ

ノ懲役ニ該タル罪ヲ犯
 ス者ハ止タ後チニ犯シ
 タル罪ノミチ照シテ更
 ニ申付ルナリ

第三百條 凡懲役一年以

上ノ囚人逃走スル者ハ
 例ニ照シ棒鎖二日仍ホ
 原犯ノ年限ニ照シテ新
 ニ拘役スト雖モ若シ逃
 走シ外ニ在キ又三年以

下ノ罪ヲ犯セハ後犯ノ
 年限ニ原犯ノ年限ヲ合
 セテ拘役スルモ亦四年
 ニ過ルヲ得ヌ百日以
 下ノ罪ヲ犯ス者モ亦
 犯ニ合セテ拘役ス其五
 年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ
 止タ後犯ノ年限ニ照シ

ヲ科斷ス

懲役一年以上ニ該ル罪
ヲ犯シタル囚人限内ニ
逃走スル者ハ例ニ照シ
テ棒鎖二日ニ處シ仍ホ
原該タル犯罪ノ懲役年
限丈ヲ新タニ拘役スル
ト雖モ若シ逃走先ニ在
テ又三年以下ノ罪ヲ犯
セハ後ニ犯シタル罪ノ
懲役年限ニ原ト犯シタ
ル罪ノ懲役年役ヲ合算
シテ拘役スルモ亦懲役
四年ヨリ多ク役スルコ
トシ逃走先ニ在テ百日

以下ニ該ル罪ヲ犯ス者
モ亦同シクソレヲ原犯
ノ年限ニ合セテ拘役ス
ルナリ逃走先ニ在テ五
年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ
止テ後犯ノ年限ニ照シ
合セテ科斷スルノミナ
リ

第三百一條 凡懲役五年

以上ノ囚人限内逃走ス
ル者モ亦例ニ照シテ棒
鎖二日仍ホ原犯ノ年限

ニ照シテ新ニ拘役スト
雖モ若シ逃走シ外ニ在
テ重テ五年以上十年
以下ノ罪ヲ犯ス者ハ並
ニ拘役四年ヲ加フ其一
年以上三年以下ノ罪ヲ
犯ス者ハ後犯ノ年限ヲ
折半シテ加役ス其百日

以下ノ罪ヲ犯ス者ハ役
限ヲ全加シテ折半スル
ヲ用ヒス

懲役五年以上ニ科サレ
シ囚人其役限内ニ逃走
スル者モ亦例ニ照シテ
棒鎖二日ニ處シ仍ホ原
犯ニ該タル年限丈ヲ新
タニ拘役スルト雖モ若
シ逃走シタル先キニ在
リテ重テ五年以上十
年以下ノ懲役ニ該ル罪

チ犯ス者ハ何レモ拘役
四年ヲ其上ニ加ヘテ罪
ス逃走先ニ在リテ一年
以上三年以下ノ懲役ニ
該ル罪ヲ犯ス者ハ後犯
ノ罪ニ該ル懲役年限ヲ
半分ニナホシテ原犯ノ
年限ニ加ヘテ役ス逃走
先ニ在リテ百日以下ノ
懲役ニ該タル罪ヲ犯ス者
ハ其犯シタル役限丈ヲ
全ク科シテ半分ニ折ス
ルノ法ヲ用ヒサルナリ

第三百二條 凡懲役終身

ノ囚人逃走スル者ハ絞
懲役終身ニ科サレシ囚
人カ逃去レハ絞罪ニ處
ス

第三百三條 凡懲役人逃

走シテ自首スル者ハ逃
罪ヲ免シ仍ホ原犯ノ年
限ニ照シテ新ニ拘役ス
若シ外ニ在テ又罪ヲ犯
ス者ハ自首法ニ照シテ

首免ヲ與フト雖モ其逃罪
及ヒ從新拘役ハ仍ホ本
法ヲ盡ス

懲役人逃走シテ先非チ
悔悟シ其罪ヲ自分カラ
申出ル者ハ逃罪丈チ免
シテヤハリ原犯ノ本罪
年限ニ照シテソシ丈ハ
新タニ拘役ス若シ逃
先ニテ又罪チ犯シタル
者自分カラ罪事チ申出
ルハ自首法ニ照シ合
告メ免罪チ與フル
レ其逃走罪及ヒ新

第二百四條 凡懲役人ノ

逃走ヲ報シ因テ逃走チ
致サルルヲ得ル者ハ
本罪ニ一等チ減ス

罪囚懲役人ノ逃走スル
チ知リソレチ申出ルニ
因テ終ニ其者チシテ逃
走スルヲ得シメサル

ニ致ス者ハ本罪ヨリ一
等ヲ減シテ賞ニ充ルナ
リ

第三百五條 凡懲役人逃

走ヲ圖リ未タ役場ヲ離

レスシテ捕ニ就ク者ハ

釋鎖二日從新拘役ノ限

ニ在ラス

懲役人逃走セシト身支
度ヲナス内ニ發覺シテ

未タ役場ヲ出キテ内
ニ捕ヘラル者ハ其罪
トシテ釋鎖二日ニ處ス
ルノミニテ仍ホ原犯ノ
年限ニ照シ合セ新タニ
拘役スルノ限ニ在ラス

第三百六條 凡懲役人水

火震災ノ變ニ因テ逸出

シ二十四時間ニ投歸ス

ル者ハ逃罪ヲ問ハス若

シ時ヲ過テ投歸セザル

者ハ例ニ照シテ棒録二
 日仍ホ原役ノ剩ル日數
 ヲ役ス其變ニ遇ヒ内ニ
 在テ逸出セス能ク消救
 防禦スル者ハ本罪ニ一
 等ニ減ス
 懲役入水難火難地震等
 ノ變災アルキ一時逸出
 多スモ其時ヨリ二十四

時間内ニ歸來シテ者ハ
 走ノ罪ニ申付クモナリ
 若シ二十四時間ヲ過ラ
 歸來ラサル者ハ例ニ照
 シ合セ棒録二日ニ處ス
 處スルノミナラスヤハ
 原犯ノ役數ノ未タ不
 足ナル日丈ヲ使役ス水
 火震災等ノ變ニ遇ヒタ
 ルモ内ニ在リテ逸出セ
 ス能ク水火ヲ消救シタ
 リシテ防禦スル者ハ本
 罪ヨリ一等ヲ減シテ賞
 ニ充ルナリ

第三百七條 凡禁錮限内

外人ニ接見通信シ若ク
ハ疾病療養等ニ託シテ
潜出行歩スル者ハ原犯
ノ年日ニ照シテ新ニ之
ヲ科ス

禁錮ノ期限内ニ外人ニ
接見或ハ通信シタリ若
シハ病氣療養ナトニカ
コツケテ潜ミ出テ他所
ヘ歩行スル者ハ原犯ノ禁

罪囚又獄ニテ懲去スル
ルヲモテ其ノ者ハ吾國十禁
ノ一ニシテ其ノ者ハ
其ノ罪囚ノ懲去スル
トモテ其ノ者ハ

若シ潜出シテ他ニ投宿
シ及ヒ縱飲スル等ニ係
レハ懲役七十日贖罪ス
ルヲテ聽シ仍ホ新ニ原
限ヲ科ス

若シ潜ミ出タル先ニテ
宿泊シタリ酒ヲ飲ナラ

新律綱領捕亡律 〇十八

改定律例捕亡律 〇十八

主守不覺失囚

凡主守罪囚ノ逃走スルヲ
覺ラサル者ハ答四十若シ
罪囚反獄シテ逃走スルト

シタリナド總テ獲リガ
マシキ事アレハ其罪ト
シテ懲役七十日ヲアテ
贖罪スルヲ聽ルサシ
仍ホ原犯日限ヲ新タニ
申付ルナリ

主守不覺失囚條例

第三百八條 凡主守看守
ニ失シ囚ヲ未決シ囚自
盡 贖罪期シテ未決者ハ懲役

キハ一等ヲ減ス故縱スル

者ハ各囚ト同罪罪流三等
ニ止ル

罪人ヲ預リ滯スルハ其獄
内ノ罪囚ノ逃去ルヲ覺ラ
サル者ハ答四十ニ罪ス若
シ罪囚ガ反獄シテ逃走
スルトキナシハ答四十ヨ
リ一等ヲ減シテ罪ス故サ
ラニ囚ヲ縱ルシヤル者ハ
縱サレタル囚ノ罪ト同罪
ナリ然モ罪流三等ニ止マ

役三十日

主守其番守ニ怠ルニリ
シテ未タ斷決ノスマサ
ル罪囚ヲシテ自殺スル
ニ至ラシムル者ハ懲役
三十日ニ罪ス

第三百九條 凡主守囚ノ

逃走ヲ覺ラサル者ハ捕
限三十日ヲ給シ追捕セ
シム限内捕得スレハ二

ル
 若シ未タ斷決セサルノ間
 自ラ捕獲シ及ヒ他人捕得
 シ若クハ囚己ニ死シ及ヒ
 自首スレハ各一等ヲ減ス
 財ヲ受ル者ハ贓ニ計ヘ枉
 法ヲ以テ重キニ從テ論ス
 若シ未タ不覺失囚ノ斷決
 相スマサル間々其逃シタ

等ヲ減ス其故縱スル者
 ハ捕限ヲ給セス
 主守罪四ノ逃走スルヲ
 覺ラサル者ハ再ヒ捕得
 サスル爲メ三十日ノ期
 限ヲ與ヘテ追捕セシム
 此三十日ノ捕限内ニ捕
 來レハ本罪總役三十日
 ヲリ二等ヲ減スモト故
 縱スル者ナレハ此捕限
 ナ與フルコナリ

第三百十條 凡保管人囚

ル主守ガ自分ノ手テ捕ヘ
 獲タリ他人ノ手ヨリ捕ヘ
 得タリ若クハ囚己ニ死
 亡シタリ囚ガ自首スレハ
 各一等ヲ減ス賄賂ヲ受ケ
 テスル者ハ贓ニ計ヘ枉法
 ナ以テ二罪中ノ重キ方ニ
 ツイテ罪ニ申付ルナリ

若シ賊外ヨリ獄ニ入り罪
 囚ヲ劫スニ防禦スト雖モ
 力敵スルヲ能ハサル者ハ

ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ
 主守不覺失囚律ニ二等
 ナ減ス
 保管人罪囚ノ逃走ルヲ
 覺ラサル者モ主守カ囚
 ナ失スルニ覺ラサル此
 律ニ二等ヲ減シテ罪ス

論スルコト勿レ

賊ガ外ヨリ來リテ獄ヲ破
リ内ノ罪囚ヲ手取ニスル
モ力敵對スルコト能ハスシ
テ逃ス者ハ逃シタル罪ヲ
論スルコトナカレ

藏匿罪人

凡他人罪ヲ犯シ事發シテ
官司人ヲ差ハシ追喚スル
ヲ知り家ニ藏匿シテ捕告

藏匿罪人條例

第三百十八條 凡官司人
ヲ差ハシ追喚スル罪人
タルコトヲ知テ爲メニ藏

ヲ行ハス及ヒ逃走スル道
路ヲ指引シ衣糧ヲ資給シ
送テ他所ニ隱避セシムル
者ハ各罪人ノ罪ニ一等ヲ
減ス其輾轉シテ相送り罪
人ヲ隱匿スル者情ヲ知ル
者皆坐ス知ラサル者ハ論

匿指引シテ隱避セシム
ル者ハ各罪人ノ罪ニ一
等ヲ減スル律ヲ改メ減
二等ニ從フ若シ罪人未
タ官司ノ追喚ニ係ラス
若クハ己ニ追喚スル者
ト雖モ未タ知ラヌシテ

スルヲ勿レ

親屬其他容隠スルノテ
キス他人カ罪ヲ犯シタル
所ロ其事發覺シテ官司ヨ
リ人ヲ差ハシ召捕ラント
スルヲ知リ其罪人ヲ己レ
ノ家ニ藏匿テ罪人ヲ捕フ
ルノ申告ヲサス及ヒ逃
去スヘキ道筋ヲ教ヘ衣食
ヲシテ仕送リツケ他所
ニ隠シ避ケシムル者ハ各
罪人ノ受クヘキ罪ニ等
シ減シテ罪ス又罪人ヲ先
カラ先ヘト送リヤリテッ
者ヲカクマフ者罪人ヲ

藏匿隱避セシムル者ハ

俱ニ情ヲ量テ不應爲ニ

問ヒ輕重ヲ分ツ

官司ヨリ人ヲ差ハシテ
召捕ラレントスルノ罪
人タルヲ知リツケ爲
メニ己カ家ニカクマヘ
タリ逃去ル可キ道筋ヲ
教ヘタリシテ罪人ヲ隠
シ避ケシムル者ハ各
々罪人ノ罪ニ等シ減
シテ罪スルナリシガ此

ノ情ヲ知ルヲナレハ相送
ル者皆ナ罪ニ坐ス全ク情
ヲ知ラサル者ナレハ罪ナ
キナリ

若シ官司ノ追捕ヲ偵知シ

テ其事情ヲ漏泄シ罪人ヲ

シテ隱避セシムル者モ罪

人ノ罪ニ一等ヲ減ス未タ

斷決セサルノ間自ラ捕獲

律ヲ改メテ二等ヲ減ス
ルトナス若シ罪人が未
タ官司ノ召捕ニ係ラス
若クハ己ニ召捕呼出シ
ニ係ル者ナリニ自分ハ
至ク其事ヲ知ラズシテ
カクマヘテ隠シ避ケシ
ムルナレハ俱ニ情實ヲ
酌ミ分ケテ不應爲ノ罪
ニアテ輕重ヲ立テ、罪

スル者ハ罪ヲ免ス若シ他
人捕得シ及ヒ罪人已ニ死
シ若クハ自首スレハ又各
一等ヲ減ス

若シ官司ヨリ人ヲ差ハシ
追捕スルト云フテ偵知
テソノ事情ヲ世間へ漏ラ
シ罪人ヲシテ終ニ身ヲ隠
シ避ケシムル者モ罪人ノ
受クヘキ罪ニ一等ヲ減シ
テ罪ス未タ其罪斷決相ス

マサル間タニ自分ノ手テ
罪人ヲ捕獲スル者ハ其罪
ヲ免ルス若シ其間タニ他
人ノ手ニテ罪人ヲ捕得シ
タリ又ハ罪人が死亡シタ
リ若クハ罪人が自首スレ
ハモト一等ヲ減シタル上
ニ又一等ヲ減ス

其罪人ニ迫劫セラレ力制
スルコト能ハス己ムコトヲ得
スシテ藏匿スル者ハ三等

ヲ減ス

追捕等ニ係ル罪人ヲ是非
カクマフコトヲ承知セテハ
ナラヌ様ニ強迫勢劫セラ
レテ止ムコトヲ得スル力ハ
ナク止ムコトヲ得スルテ
匿スル者ハ各罪人ノ罪ニ
三等ヲ減ス

斷獄律

斷獄ハ禁獄ノ捌キニツ
イテノ律ナリ

故禁無罪人

凡官吏私讎ヲ懷挾シ故サ
ラニ無罪人ヲ禁獄スル者
ハ徒一年因テ死ニ致ス者
ハ絞司獄卒知テ舉首セサ

新律綱領 獄律 ○ 一

改定律例 斷獄律 ○ 一

ル者ハ同罪罪流三等ニ止
ル知ラサル者ハ坐セス
官吏私ノ恨ミテ挾ミテ故
サテ無罪ノ人ヲ禁獄サ
スル者ハ徒一年ニ罪ス禁
獄ハ其爲メ死ニ致ス
ノ者ハ絞罪ニ處ス司獄官ヤ
獄卒ガ無罪ナルヲ知リ
ツ、舉シテ申出デサル者
ハ官更ニ同罪ナリ併ジ
罪流三等ニ止ル至ク知ラ
ズシテ舉首セサル者ハ罪
ナキナリ

若シ官吏私難ヲ攘挾シ故
サテ無罪ノ人ヲ拷訊スル
者徒一年折傷以上ハ凡
關傷ニ二等ヲ加フ因テ死
ニ致ス者ハ斬同僚官獄卒
情ヲ知テ共ニ拷訊スル者
ハ同罪罪流三等ニ止ル知

ラサル者ハ坐セス

若シ官吏私ノ恨ヲ挾サミ
故サラニ無罪ノ人ヲ拷問
ニカケル者ハ徒一年ニ罪
ス拷問ニテ折傷以上ノ傷
ヲ負ハスルハ凡圖為ノ罪
ニ二等ヲ加ヘテ罪ス拷問
ニ因テ死ニ致タス者ハ斬
罪ニ處ス同僚ノ官吏ヤ獄
卒ガ情ヲ知リツ、三一 所ニ
ナリテ拷問スル者ハ同罪
ナリ併シコレハ罪洗三等
ニ止ル全ク情ヲ知ラサル
者ナレハ罪ナキナリ

陵虐罪囚

凡獄卒非理ニ在獄ノ罪囚

ヲ陵虐毆傷

陵虐トハムシ
クアマロフナ

リスル者ハ凡鬪傷ニ依テ

論ス罪囚ノ衣食ヲ尅減ス

ル者ハ贓ニ計ヘ監守自盜

ヲ以テ論ス因テ死ニ致ス

者ハ絞司獄官吏知テ舉セ

サル者ハ同罪罪流三等ニ

止ル

獄卒無闇ニ獄内ニ在ル罪
囚ヲ陵虐毆傷スル者ハ凡
闘傷ニ依テ其罪ヲ論ス罪
囚ニ衣類ヤ食物ヲヘラシ
宛行ハサル者ハ其不足分
ヲ罪ニ計ヘ監守自盜ヲ以
テ罪ヲ論ス其宛行ハル者
ハ絞罪ニ處ス司獄ノ官
吏情ヲ知リテ其宛行ハル
者ハ絞罪ニ處ス司獄ノ官
シテ罪流三等ニ止ル

與囚金刃

凡獄卒金刃及ヒ他物ノ自
殺スヘク及ヒ解脫スヘキ
ノ具ヲ以テ囚ニ與フル者
ハ杖一百囚ヲ囚逃走シ及
ヒ自傷シ或ハ人ヲ傷スル
ヲ致ス者ハ徒一年若シ

與囚金刃條例

第三百十二條 凡常人囚
ニ金刃ヲ與ヘ及ヒ子孫
祖父母父母ニ與ヘ雇人
家長ニ與フル者ハ各獄
卒ノ罪ニ一等ヲ減ス
獄卒ニテモナキ常人ガ
罪囚ニ刃物ヲ與ヘタリ

囚自殺シ及ヒ人ヲ殺ス者

ハ徒二年

獄卒ガ刃物及ヒ其他自害ノ出来ル物具及ヒ半破リノ出来ル物具ヲ囚人ニ與フレハ杖一百ニ罪ス其與フルヨリシテ囚人が逃去リタリ自刃ヲ傷チツケタリ人ニ傷チ負ハスルヲ致ス者ハ徒一年ニ罪ス若シ囚人が其物ニテ自害シタリ人ヲ殺スニ致ナス者ハ徒二年ニ罪ス

子孫ガ祖父母ヤ父母ニ刃物ヲ與ヘタリ雇人ガ家長ニ刃ヲ與フレハ各獄卒ノ與フル罪ニ一等ヲ減シテ罪ス

第三百十三條 凡獄卒金

錢其他應禁ノ物ヲ傳遞

シテ囚ニ與フル者ハ違

令重ニ問フ若シ財ヲ受

ル者ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ

若シ財ヲ受ル者ハ贓ニ計

ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ

論ス

若シ財物ヲ受ケテ金刃等ヲ與フル者ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ論シ二罪中一ツノ重キ方ニツイテ罪スルナリ

教囚翻異

凡司獄官獄卒罪囚ニ教令

以テ重キニ從テ論ス

獄卒金錢ニ限ラズ若シ制禁ニナリテオル物ヲ取次テ囚人ニ渡スハ違令重ニ問フ若シ財物ヲ受ケテ取次クハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ論シ二罪中一ツノ重キ方ニツイテ罪スルナリ

シテ事情ヲ翻異變亂セシ
メ及ヒ爲ニ言語ヲ外人ニ
通傳シ其罪ヲ増減スル者
ハ故出入人罪律ヲ以テ論
ス外人ノ犯ス者ハ一等ヲ
減ス若シ財ヲ受ル者ハ
並ニ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ

重キニ從テ論ス

司獄官ヤ獄卒罪囚ニ惡ム
智惠ヲツケテ事情ヲ前ト
チガヘ公事ヲモチカヘサ
セヨリ罪囚ノ爲メニ其言
語ヲ外人ニ通達シヤリテ
罪囚ノ罪ヲ増シ減シスル
者ハ故出入人罪律ヲ以テ
論スルナリ外人此罪ヲ犯
スナレハ一等ヲ減シテ罪
ス若シ財物ヲ受ケテ反異
通信スルナレハ何レモ贓
ニ計ヘ枉法ヲ以テ論シ二
罪中一ツノ重キ方ニツイ
テ罪スルナリ

老幼不拷訊

凡年七十以上十五以下若
クハ癡疾者ハ並ニ拷訊ス
可カラス皆衆證ニ據テ罪
ヲ定ム違フ者ハ故出入人
罪律ヲ以テ論ス其相容隱
スルヲ得ルノ人及ヒ年
八十以上十歳以下若クハ

篤疾者ハ皆證タラシムル

ヲ得ス違フ者ハ答四十
年七十以上ノ老人十五以
下ノ幼者若クハ癡疾者ハ何
レモ拷問ニカケルヲナキ
ナリ白狀セヌキハ衆多ノ
證証ニ據テセンキヲ其
該ツ可キノ罪ヲ定ムルヲ
リ違フテ拷問ニヨリ罪ヲ
定ムル者ハ故失入人罪律
ヲ以テ官吏ヲ罪ス又親類
等相容隱スルヲ得ルノ
人ヤ年八十以上ノ老人十
歳以下ノ幼者若クハ篤疾

者ノ言フハ其衆證中ニ
入ラヌナリ若シコレ等ノ
申スヲテ證トナシテ罪ヲ
定ムル者ハ答四十ニ罪ス

獄囚誣指無罪人

凡罪囚獄ニ在テ無罪人ヲ
誣指スル者ハ誣告ヲ以テ
論シ其本犯罪重キ者ハ重
キニ從テ論ス
罪囚ガ獄内ニ在リテ

ギノ作罪モナキ人ナ箇様
ノ罪ガアルナドト誣フル
者ハ誣告律ヲ以テ其罪ヲ
論シ此罪ト本犯ノ罪トチ
比ヘミテ本犯ガ誣告ヨリ
重ケレハ重キ方ニツイテ
罪スルナリ

若シ官吏獄囚ヲ鞫問スル
ニ非法ニ拷訊シ故サラニ
教令ヲ行ヒ無罪人ヲ誣指
スル者ハ故入人罪律ヲ以テ

論ス

官吏獄囚ヲ吟味セシメギス
ルニ無法ノ拷問ヲ行ヒ故
サラニ智惠ヲツケテ無罪
ノ人ヲ罪アルナドト誣指
セシムル者ハ獄囚ヲ誣告
ニ致ス罪アルヲ以テ其官
吏ハ故入人罪律ヲ以テ罪
スルナリ

若シ囚ヲ鞫シテ證佐ノ人

實情ヲ言ス故サラニ誣證

ヲ行フ者ハ罪人ノ罪ニ二

等ヲ減ス

若シ罪囚ヲ吟味シテ罪ヲ
犯セど本人ニテハナク其
證據ノ爲メ呼出サレタル
人ヲ鑿穿スルニ其證佐ノ
人ニ本統ノ事ヲ云ハスシ
テ故サド偽リヲ申立ル者
ハ犯人ノ受ル罪ヨリ二等
ヲ減シテ罪スルナリ

出入人罪

凡官吏故サラニ人ヲ罪ニ

出入シ全ク出ダシ全ク入

出入人罪條例

第三百十四條 凡故サラ

ニ出入シ及ヒ入ル、ニ

ル者ハ出入スル所ノ全
 罪ヲ以テ論ス若シ故サ
 ニ輕ヲ増シテ重ト作シ重
 ナ減シテ輕ト作ス者ハ其
 増減スル所ノ罪ヲ以テ坐
 ス死ニ至ル者ハ坐スルニ
 死罪ヲ以テス
 官吏ガ故ザト罪アル人ナ
 空ク罪ナキニ取計ヒ罪ナ

失スル罪人ハ已ニ斷了
 ナ經ルト雖モ檢舉シテ
 改正スルヲ得ヘキ者
 ハ改正シ其出タスニ失
 スル者ハ貼斷スルヲチ
 用ヒス
 故サラニ罪ニ落サレタ
 リ罪ヲ免ルシタリ又ハ

キ人ナ全ク罪アルニ取計
 ヒテ斷了スルハ其免サレ
 タル全罪ヤ罪サレタル全
 罪ナ官吏ニ該テ論スル
 ナリ若シ官吏故サラニ輕
 キ罪ヲ増シテ重キ罪ニナ
 シ重キヲ減シテ輕キ罪ニ
 ナス者ハ其差畧シテ本罪
 ニ増シ減ラシタル所ノ罪
 ナ官吏ニカケテ罪スルナ
 リ差畧シテ死罪ニ致タセ
 ハ官吏ニカケルニ死罪ヲ
 以テシテ減スルヲナキナ
 リ
 若シ罪ヲ斷シテ入ルニ

新律綱領斷獄律 〇十

問違ニテ罪ニ落サレタ
 ル罪人最早斷了ナ經ル
 後ナリモ發覺スル片調
 へ直シテ該テ換ヘル
 ノ出來ル者ハ該テ直シ
 又問違ニテ罪ヲ免ルシ
 タルモニハ其罪ヲ該直
 シテ再々ヒ申付ルヲナ
 キナリ

第三百十五條 凡官司屍

傷ヲ檢視シテ實ナラサ
 ル者ハ懲役四十日因テ

改定律例斷獄律 〇十

失スル者ハ各三等ヲ減ス
 出タスニ失スル者ハ各五
 等ヲ減ス並ニ罪所由ヲ以
 テ首ト爲ス
 罪人ノ罪ヲ斷決スル其間
 違ニテ重クスル者ハ各其
 罪ニ三等ツツテ減シテ罪
 大間違ニテ輕クスル者ハ
 各其罪ニ五等ツツテ減シ
 テ罪ス其罪ハ何レモ手近
 ク取扱タル官吏ヲ以テ首
 トナスナリ

罪ニ増減アル者ハ失出
 入人罪ヲ以テ論ス若シ
 財ヲ受ケ故ラニ實ヲ以
 テセサル者ハ故出入人
 罪ヲ以テ論ス贓重キ者
 ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ
 重キニ從テ論ス
 官吏檢使ニユキテ死骸

若シ囚未タ處決放免セス
 及ヒ放テ還タ獲若クハ
 囚自死スレハ官吏ノ罪又
 各一等ヲ減スルヲ聽ス
 罪斷ニ出入サセタル囚人
 ガ未タ處決ニモ放免ニモ
 ナラヌ内カ又ハ一タヒ放
 免セシモ還メ獲得ルカ若
 シハ囚自滅スルキハ出入
 シタル官吏ノ罪上減ノ外
 ニ又各一等ツ、テ減スル

ヤ傷口ヲ視ルニ改方ノ
 實ナラサル者ハ懲役四
 十日ニ罪ス其實ナラサ
 ルヨリシテ罪人ノ罪ニ
 増減ヲ生セシムル者ハ
 失出入人罪ヲ以テ官吏
 ニ論ス若シ賄賂ヲ受ケ
 テ故サラニ實ヲ以テセ
 サル者ハ故出入人罪律
 ナ以テ罪ニ申付ルナリ
 受タル財物多クシテ賍
 罪ノ重キ者ハ賍ニ計ヘ
 枉法ニテ論シ二罪中一
 方ノ重キニツイテ罪ス
 ルナリ

ナキユルサル

答杖不如法

凡官吏答杖ヲ用ルニ法ニ依ラニ法ノ如クセサル者ハ答三十因テ死ニ致ス者ハ杖一百埋葬金二十五兩ヲ追徴ス答杖ヲ行フノ人ハ各一等ヲ減シ金兩ヲ追徴

セス若シ罪人ノ臀腰刑ヲ

受クヘキ處ヲ法ニ依リ決

打シテ邂逅ニ死ヲ致ス者

ハ論スルヲ勿レ

官吏下知ヲナシテ故サ
ラニ法ニ違ツテ答杖ヲ用
ユル者ハ答三十ニ罪ス法
ノ如クセサルヨリシテ罪
人ヲ死ニ致タス者ハ杖一
百ニ罪シ其上金二十五兩
ヲ取立テ、死者ノ埋葬入

新律綱領斷獄律 ○十二

改定律例斷獄律 ○十二

用ニ充テシム官司ノ命ヲ
受ケテ笞杖ヲ取リ罪人ヲ
打ツノ人ハ官吏ノ罪ニ各
一等ヲ減シテ罪シ埋葬金
ヲ取立ルコトナシ笞杖ハ全
体罪人ノ臀腰ヲカケテ打
ツ可キモノユヘ其法ニ違
ハス臀腰ヲ決打セシニヒ
ヨツトシテ死ニ致スハモ
下法ニ違ハヌコトユヘ罪ナ
キナリ

婦人犯罪

凡婦人輕罪ヲ犯スハ本夫
ニ責付シテ保管セシム如

シ夫ナキ者ハ親屬鄰保ニ
責付シテ保管セシム重罪
ハ禁獄スルコトヲ許ス違フ
者ハ答三十

婦女ガ輕罪ヲ犯スハ夫
ニアツケテ受合セ預カラ
シム如シ其婦女ナキ者ナ
レハ本人ノ親屬組合ニ申
付テ預カラシムルナリ婦
女重罪ヲ犯スハ禁獄ヲ申
付ルコトヲ許ルス右ノ法ニ

違フ者ハ其違ヒタル官吏
ヲ答三十ニ罪ス

若シ婦人懷孕シテ罪ヲ犯
シ拷訊スヘキ者ハ上條ノ
如ク保管シ産後一百日ヲ
待テ拷訊スヘシ若シ未ダ
産セサルニ拷訊スル者ハ
杖九十因テ墮胎スル者ハ

徒一年半死ニ致ス者ハ流

三等

婦人懷孕シテ罪ヲ犯シタ
ル所_ヨ口拷問ヲカケテハナ
ラヌハ上ノ條ノ通りニ本
夫ニ責付シテ保管セシメ
産後一百日ヲ経テ後チニ
拷問ス可キナリ若シ未ダ
産チナサハ内ニ拷問ス
ル者ハ杖九十ニ罪ス拷問
スルヨリシテ墮胎セシム
ル者ハ徒一年半ニ罪ス因
テ死ニ致タス者ハ流三等
ニ罪ス

若シ懷孕ノ死囚ハ穩婆ニ
トリアケム
 看視セシメテ後ニ監禁ス
 産ノ期ニ臨メハ親屬鄰保
 ニ責付シ産後一百日ヲ待
 テ乃刑ヲ行フ未タ産セス
 シテ決スル者ハ徒一年半
 産シ訖ルモ日限未タ滿ス
 シテ決スル者ハ杖八十失

誤スル者ハ各三等ヲ減ス
 懷妊シテ居ル死罪ノ囚女
 ハ取揚婆ニ看視セシメテ
 後チニ監獄ニ入レ産月ニ
 臨メハ半ヨリ出シテ親屬
 鄰保ニ預ケ産シテ後チ一
 百日立ツヲ待チ乃チ死刑ニ
 行フナリ未タ産セサル内
 ニ刑ヲ行フ者ハ徒一年半
 ニ罪ス産カ濟ムニ百日ノ
 期限立タヌ内ニ決スル者
 ハ杖八十ニ罪ス失誤ニテ
 決スルハ各三等ツ、チ減
 シテ罪ス

死囚奏請待報

凡死囚ヲ奏請シ回報ヲ待

タス輒ク處決スル者ハ杖

七十

死罪ニ該ル罪囚ハ其死刑ニ該ルヲ奏請ニ入レテ上意ヲ請ヒ回報ヲ待ツ可キニ待タズシテ輒ク處決スル者ハ杖七十ニ罪ス

若シ禁刑ノ日ニ於テ決ス

死囚奏請待報例

第三百十六條 凡死囚ニ

成リ罪死ニ該ル者 奏

請シ待報内ニ在リ死亡

スルニ遺骸ハ親ニ請フ

者アレハ下付スルヲ

聽ス

犯罪ノ吟味濟ニ 口供

ル者ハ答三十

刑罰ノ制ニ依リテ罪ニ該ル者ハ答三十ニ對シテ一答ヲ減ス

罪對ニ對テ一答ヲ減ス

凡罪罪斷シテ決配可シ

下故サラニ取贖シ收贖出

下故サラニ取贖シ收贖出

新律刑罰條例卷之六

新律刑罰條例卷之六

死囚奏請待報例

第三百十六條 凡死囚ニ

成リ罪死ニ該ル者 奏

請シ待報内ニ在リ死亡

スルニ遺骸ハ親ニ請フ

者アレハ下付スルヲ

聽ス

犯罪ノ吟味濟ニ 口供

ル者ハ答三十

刑罰ノ制ニ依リテ罪ニ該ル者ハ答三十ニ對シテ一答ヲ減ス

罪對ニ對テ一答ヲ減ス

凡罪罪斷シテ決配可シ

下故サラニ取贖シ收贖出

下故サラニ取贖シ收贖出

新律刑罰條例卷之六

新律刑罰條例卷之六

第三百十七條 凡取贖ス

可キヲ誤テ實斷スル者

下故サラニ取贖シ收贖出

新律刑罰條例卷之六

可キテ決配スル者ハ故出
入人罪律ニ依テ一等ヲ減
ス失誤スル者ハ失出入人
罪律ニ依テ一等ヲ減ス

罪ヲ判斷シテ答杖ニ決シ
徒流ニ配ス可キテ故サ
ニ收贖シタリ收贖ス可キ
テ故サテニ決配スル者ハ
故出入人罪ニ依テ論シ
等ヲ減シテ罪ス

若シ絞ス可キテ故サテニ
斬シ斬ス可キテ絞スル者
ハ答五十失誤スル者ハ三
等ヲ減ス

絞罪ニ處ス可キ者テ故サ
テニ斬罪ニ處シ斬罪ニ處
ス可キ者テ故サテニ絞罪
ニ處スル者ハ答五十ニ罪
ス失誤ニテ取違ヘル者ハ
答五十ヨリ三等ヲ減シテ
罪ス

改正スルヲ得ヘキ者
ハ改正シ其實斷ス可キ
テ誤テ取贖スル者ハ貼
斷スルヲ用ヒス

收贖ニ申付ヘキテ誤テ
實斷ニ處シタル所口其
改正スルヲ出來ル者
ハ改正スルナリ併シ實
斷ス可キテ誤テ收贖ス
ルノハ再ヒツケ直スト
ナキナリ

第三百十八條 凡罪ヲ斷
スルハ口供結案ニ依ル
若シ甘結セスシテ死亡
スル者ハ證佐アリト雖

モ其罪ヲ論セス
是ハ死罪ナリ彼ハ懲役
何日ナリト判斷スルハ
口書ガ出來上ル後テ其
口書ニ依テスルモノナ
リ若シ其口供ノ甘結セ

第二卷上段名例律第五葉九行註文(計算スルコト)ノヌハスノ誤
 同裏面註文第五行(追纏シ)ノ纏ハ微ノ誤
 第二卷下段名例律第三十九葉註文第八行(本罪ヨリ二罪ナ)ノ二罪ハ二等ノ誤
 第二卷上段名例律第五十二葉註文第十一(論ヌルナリ)ノヌハズノ誤
 第二卷上段名例律第六十五葉註文第一行(官聽)ハ官廳ノ誤
 同裏面末ノ註文第一行(別段ノ名罪)ノ名罪ハ罪名ノ誤
 第二卷下段名例律第七十八葉註文第六行(申付ルトナリ)ノリハスノ誤
 同裏面註文第二行ヨリ四行ニ至リ(死死罪ニ至ルル)ハ死ノ字一字削ルベシ
 第二卷下段名例律第九十葉註文第三行(宣)ハ宜ノ誤
 第三卷上段職制律第十五葉註文第三行(公用ニ供ス)ノスハシノ誤
 第三卷上段戶婚律第六葉註文第四行(ミナル情)ノナハタノ誤
 第三卷上段戶婚律第九葉ノ註文ノ第一行(モト取りツシ)ノリハハノ誤
 同下段木柵石籠ノ註文(水柵)ハ水柵ノ誤

同下段第十葉註文第六行(實父母養母)ハ實父母養父母ノ誤
 同下段第十一葉裏面註文第七行(決テ)ハ決ッノ誤
 同上段第十二葉裏面註文第三行(杖九百)ハ杖九十ノ誤
 第三卷下段賊盜律第十三葉註文第三行(傷スルル)ハ傷セズヒノ誤
 同下段第二十葉註文第七行(鎖鑰)ハ鎖鑰ノ誤脱ナリ
 同下段第二十八葉註文第七行(計ヘニルニ)ハ計ヘミルコノ誤
 同下段第四十三葉裏面(各等)ノ間ニ一ノ字ヲ脱ス
 同上段第四十四葉第一行(造意)ハ造意ノ誤脱
 同下段第四十九葉裏面註文第三行(話シタリ)ハ世話ヲシタリノ誤脱
 第三卷下段人命律第五葉註文第十行(殺スニ)ノニノ字誤テ横ニ活字セリ
 同上段第七葉註文第五行(曾ソ)ハ皆ナノ誤
 同下段第十葉註文第五行(從テ懲役三年)ノテノ字誤テ横ニ活字ス同第十三行(斬罪處
 ス)斬罪ニ處スノ誤脱

同第廿六葉裏面註文第一行(寒中ニ)ノ三字削ルベシ

同上段第二十二葉註文第四行(スルレバ)ハスルモノ誤同裏面註文第二行ヨリ三行(以下ナルルハ)以下ナルハノ誤

同下段第廿三葉第一行(親長)ノ間尊ノ字ヲ誤脱ス

第四卷上段第六葉罵詈律註文第五行(サレ)ハザレノ誤

第四卷上段第十三葉訴訟律註文第六行(同シテ)同シクノ誤

同上段第十五葉註文第一行(外祖父)ノ下ニ母ノ字ヲ脱ス

第四卷上段受賍律尅留ノ註ニ云ノ字ヲ誤テ横ニセリ

第五卷目錄上段裏面第八行(親族)ハ親屬ノ誤

第五卷上段詐偽律(者ハ)ノ下ノ註文(桃水)ハ挑水ノ誤

同第六葉下段註文第二行(ハ、役)ノ間懲ノ字ヲ脱ス

同下段第十葉註文第二行(罪論)ノ間ヲノ字ヲ脱ス

同下段裏面末ノ註文第二行三行(雇工錢)ハ雇工錢ノ誤

同下段第十二葉裏面偽造貨貨條例ノ註文(六月日)ハ(六月 日)ノ誤

第五卷上段犯姦律第一葉註文第四行(一年)ハ三年ノ誤

第五卷下段犯姦律第三葉裏面註文第一行(伯姑叔姑)ハ伯姑叔姑ノ誤

下同段第四葉裏面第三行(者、懲)ノ間ハノ字ヲ脱ス

第五卷上段雜犯律第四葉註文第一行(金錢ヲ)ハ金錢ヲノ誤(モ、)ハモノ、欠ケタル也

同下段第十葉註文第四行(宅舍ト)ハ宅舍ヲノ誤

同下段第十二葉註文(明治六年)ノ下ニ八月十二日太政官第二百九十九號御布告ノ十八

字ヲ脱ス

同下段第十七葉裏面第一行(失條)ノ間物ノ字ヲ脱ス

同下段第二十葉裏面註文第三行(輕キ者ハ)ハ輕キ者ノ誤

同下段第二十二葉裏面註文(首タル者ヲ)ノ下ニハ總テ削ルベシ

第五卷上段捕亡律第一葉裏面註文第二行(故ト)ハ故トノ誤

同上段第四葉裏面註文第六行(場)ハ傷ノ誤

同上段第六葉註文第二行(一膳ヲ)ノヲハ削ルベシ

同上段第九葉註文第五行(後罪)ハ徒罪第六行(徒)ハ後ノ誤

同下段第十一葉第五行(亦)ノ下ニ原ヲ脱ス同裏面註文第十一(年役)ハ年限ノ誤

同下段第十五行裏面註文末ノ第一行(モシ)ハセシノ誤

同下段第十六葉裏面第六行(等ニ)ハ等ヲノ誤

同下段第十八行裏面註文第四行(サシ)ハサシノ誤

同下段第十九葉裏面註文第九行(ナリ)ハナシノ誤

同下段第廿葉註文第三行第四行(免ヲサル此ノ律ニ二等ヲ減シテ罪ニ)ハ免ヲサルノ律

ニ依リ其上ヲ二等ヲ減シテ罪スノ誤脱同裏面(十八條)ハ十一條ノ誤

同上段第廿一葉裏面註文第六行(藏匿)ハ藏匿ノ誤同第十五行(罪人)ノ下ニカノ字ヲ

脱ス

同下段第廿二葉註文第七行(カクマヘテ)ハカクマヒテノ誤

第五卷上段斷獄律第一葉裏面註文第九行(同罪ナリシ)ノシハ削ルベシ

同上段第七葉註文第五行(センキ)ハセンギノ誤

同上段第八葉裏面第二行(言ス)ハ言ズノ誤

同上段第九葉註文第五行(人ニ)ハ人が第六行(故カド)ハ故ザトノ誤

同下段第十一行註文第七行(ニ論ス)ハニ論ズノ誤

同下段第十六行註文第五行(スルニ)ハスレバノ誤

同裏面上段註文第六行(罪ス)ノ下ニ(全クアヤマナレバ失出入人罪律ヲ以テ官吏ニ

罪ヲ當テ同シク一等ヲ減ズ)ノ三十三字ヲ誤脱ス

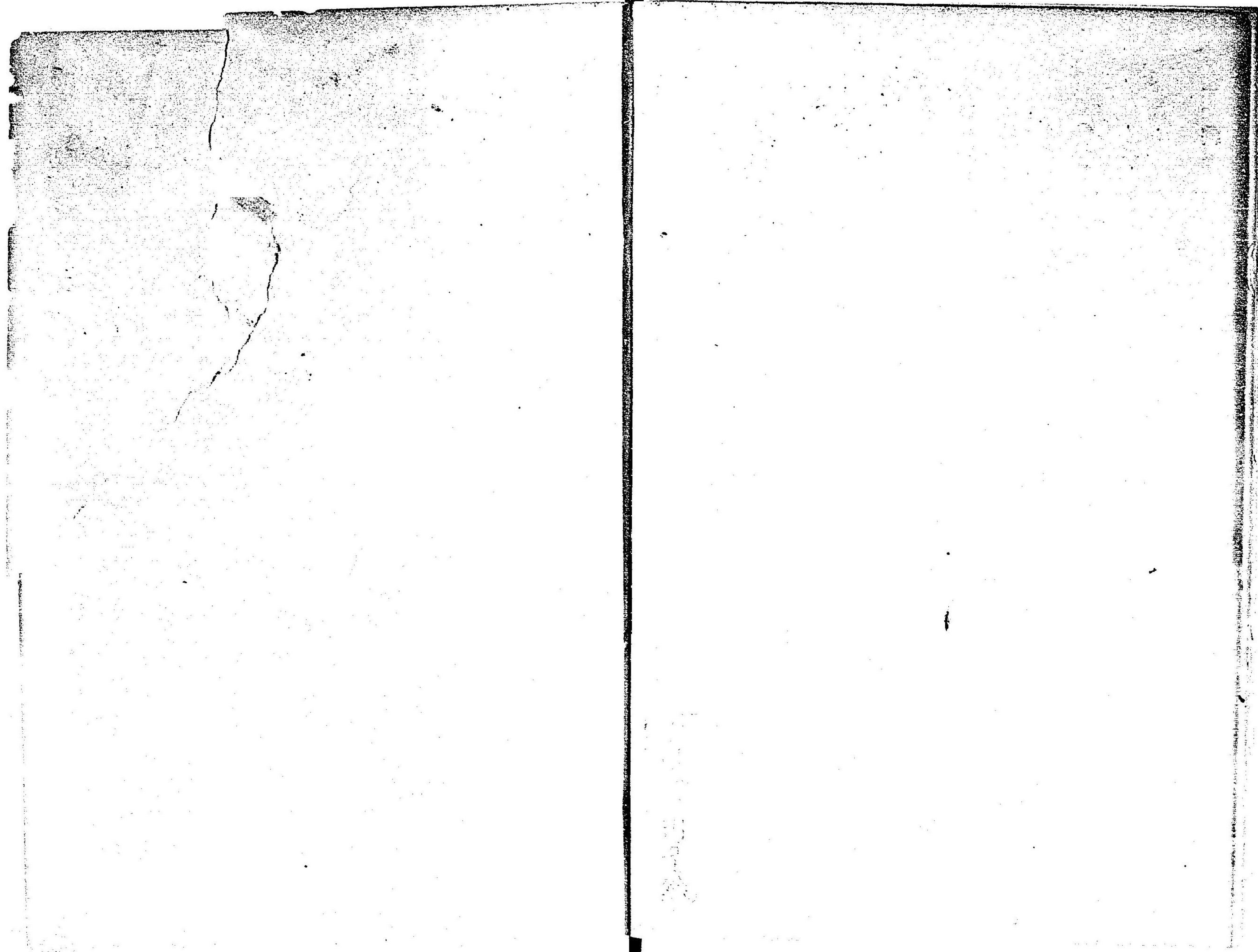
本文中(重キニ從テ論ズ)ノ註解ニ時トシテ(罪ノ重キニ從ガヒ刑ヲ重クスルナリ)

ナドアリ是レ印刷者塗抹セシモノヲ舉ゲ校正字ヲ用ヒズ校合者モ亦之ニ注意セ

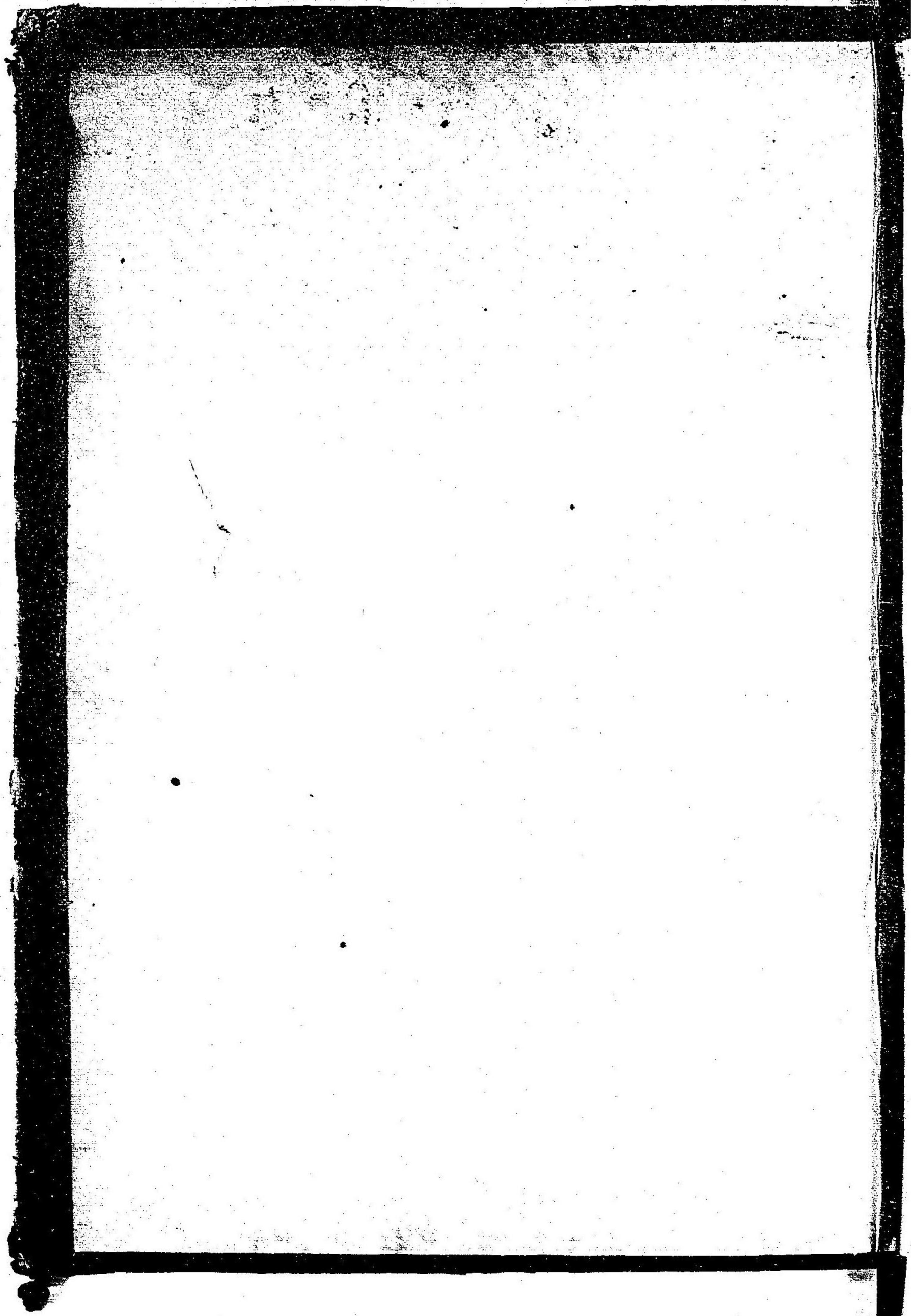
ザルニ因ル全本己ニ成リテ容易ニ改刷シ難シ宜シク第五卷ノ如ク(二罪以上一方

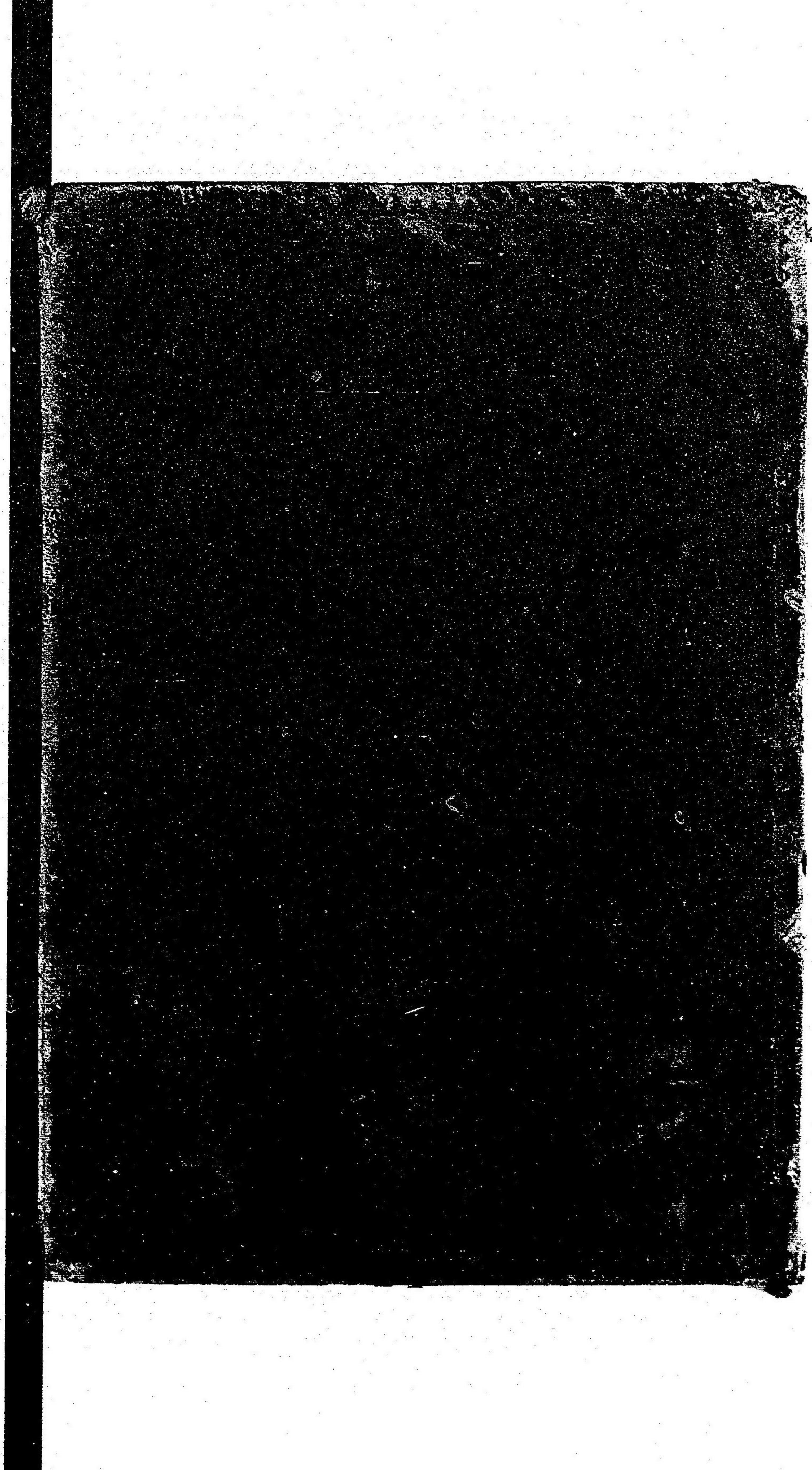
ノ重キ方ニツヒテ罪ス)ト改ムベシ編者杜撰ノ罪免ル、所ナシ請フ看客海容シ玉ヘ

正誤終









乙

三

館書圖京東	
函 四 一	門 新
架 四	部 一 一
號 〇 七 〇 五	類

036259-000-2

特16-441

新律綱例改定律領改正条例

北村 長綱/注

M8

BBP-0979





明倫彙編
家範典
卷之
五十四
家範
卷之
五十四